

〔様式G1〕

令和6年度 環境目標・環境活動計画管理票(省エネ・省資源用)

1 所属、責任者、担当者											
所属名		諏訪湖流域下水道事務所									
責任者(所属長)		所長 山崎 直人									
担当者		管理課 日出嶋 孝紀									
連絡先		0266-58-2955									
2 目標及び達成状況											
電気 使用量 の 削減	率先実行計画の目標		電気使用量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比65%以上削減する。								
	今年度の目標		令和	5	年度比	1	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)		17,773,753	kWh
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)		<ul style="list-style-type: none"> 下水の処理に電気の使用(揚水ポンプ、ばっ気等)が必須であるため、H22(20,800千kWh)比65%削減(7,280千kWh)することは困難。 処理場全体で前年度比1%削減(省エネ法の努力目標を準用)を目標とする。(努力目標とは、重油換算エネルギー原単位の年平均1%以上低減(H18年経済産業省告示65号)) 算定式: R5実績(処理場+場外施設) - R5処理場実績 $\times 0.01 = 17,949,378\text{kWh} - 17,562,510\text{kWh} \times 0.01 = 17,773,753\text{kWh}$ (場外施設は削減の余地がなく、削減対象から除外) 								
	目標達成のための手段		省エネ機器の導入、省エネ運転の検討 等								
	上半期の実績		実績使用量 (削減分ではありません)						9,130,446	kWh	
	今年度の実績		令和	5	年度比	-0.7	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)		18,068,970	kWh
	達成状況の評価		達成状況の評価		B			目標に対する達成状況 98 %			
燃料 使用量 ① の 削減	率先実行計画の目標		庁舎・設備で使用する燃料使用量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比70%以上削減する。								
	燃料の項目		A重油								
	今年度の目標		令和	5	年度比	1	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)		261,021	L
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)		<ul style="list-style-type: none"> 焼却炉の稼働にはA重油の使用が必須であるため、H22(369,135L)比70%削減(110,740.5L)することは困難。 処理場全体で前年度比1%削減(省エネ法の努力目標を準用)を目標とする。 算定式: R5実績 $\times 0.99 = 263,658\text{m}^3 \times 0.99 = 261,021\text{m}^3$ 								
	目標達成のための手段		省エネ機器の導入、省エネ運転の検討 等								
	上半期の実績		実績使用量 (削減分ではありません)						121,419	L	
	今年度の実績		令和	5	年度比	-7.6	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)		283,595	L
達成状況の評価		達成状況の評価		B			目標に対する達成状況 92 %				
燃料 使用量 ② の 削減	率先実行計画の目標		庁舎・設備で使用する燃料使用量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比70%以上削減する。								
	燃料の項目		LPガス								
	今年度の目標		令和	5	年度比	1	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)		269	m3
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)		<ul style="list-style-type: none"> 下水の処理にLPガスの使用(加温ボイラーの着火用等)が必須であるため、H22(648m³)比70%削減(194m³)することは困難。 処理場全体で前年度比1%削減(省エネ法の努力目標を準用)を目標とする。 算定式: R5実績 $\times 0.99 = 272\text{m}^3 \times 0.99 = 269\text{m}^3$ 								
	目標達成のための手段		省エネ機器の導入、省エネ運転の検討 等								
	上半期の実績		実績使用量 (削減分ではありません)						136	m3	
	今年度の実績		令和	5	年度比	6.7	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)		254	m3
達成状況の評価		達成状況の評価		A			目標に対する達成状況 106 %				

〔様式G1〕

令和6年度 環境目標・環境活動計画管理票(省エネ・省資源用)

1 所属、責任者、担当者										
所属名		諏訪湖流域下水道事務所								
責任者(所属長)		所長 山崎 直人								
担当者		管理課 日出嶋 孝紀								
連絡先		0266-58-2955								
2 目標及び達成状況										
公用車の省エネ(ガソリン)	率先実行計画の目標		公用車の燃料消費量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比40%以上削減する。							
	今年度の目標		令和	5	年度比	2	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	754.7	L
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)		<ul style="list-style-type: none"> 流域下水道の維持管理業務の組織改正により、H24に下水道公社委託から県直営化となった。H22段階では組織が異なり対象車数も異なるため、現在の組織となったH24を比較対象年度とした。 率先実行計画の目標「H24(937L)比40%削減(562L)」の達成に向け、前年度比2%の削減を目標とする。 算定式: R5実績×0.98=770.1L×0.98=754.7L 							
	目標達成のための手段		・エコドライブの推進、相乗り出張、近距離の公用自転車の利用、公共交通機関の積極利用 等							
	上半期の実績		実績使用量 (削減分ではありません)						232.8	L
	今年度の実績		令和	5	年度比	32.6	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	518.7	L
	達成状況の評価		達成状況の評価		A			目標に対する達成状況		146 %
公用車の省エネ(軽油)	率先実行計画の目標		公用車の燃料消費量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比40%以上削減する。							
	今年度の目標		令和		年度比		%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)		L
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)		(対象設備なし)							
	目標達成のための手段									
	上半期の実績		実績使用量 (削減分ではありません)							L
	今年度の実績		令和		年度比		%削減	実績使用量 (削減分ではありません)		L
	達成状況の評価		達成状況の評価					目標に対する達成状況		%
水道使用量の削減	中長期の目標		上水道の使用量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比10%以上削減する。							
	今年度の目標		令和	5	年度比	0.25	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	4,285	m3
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)		<ul style="list-style-type: none"> 前述同様、H24に県直営化となり対象職員数が異なるため、H24を比較対象年度とした。 率先実行計画の目標「H24(6,643m³)比10%削減(5,979m³)」は達成済み。 更なる削減のため、前年度比0.25%の削減を目標とする。 算定式: R5実績×0.9975=4,296m³×0.9975=4,285m³ 							
	目標達成のための手段		節水コマや節水器等の導入、管理本館屋上冷却塔や管理本館冷温水発生装置の運用見直し 他							
	上半期の実績		実績使用量 (削減分ではありません)						1,942	m3
	今年度の実績		令和	5	年度比	3.1	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	4,161	m3
	達成状況の評価		達成状況の評価		A			目標に対する達成状況		103 %

〔様式G1〕

令和6年度 環境目標・環境活動計画管理票(省エネ・省資源用)

1 所属、責任者、担当者										
所属名		諏訪湖流域下水道事務所								
責任者(所属長)		所長 山崎 直人								
担当者		管理課 日出嶋 孝紀								
連絡先		0266-58-2955								
2 目標及び達成状況										
用紙類の削減	率先実行計画の目標		コピー用紙等の使用枚数を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比10%以上削減とする。							
	今年度の目標		令和	5	年度比	0.5	%削減	削減後の使用量 (削減分ではありません)	102.5	千枚
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)		・前述同様、H24に県直営化となり対象職員数が異なるため、H24を比較対象年度とした。 ・率先実行計画の目標「H24(224千枚)比10%削減(201.6千枚)」は達成済み。 更なる削減のため、前年度比0.5%の削減を目標とする。 ・算定式: R5実績×0.995=103千枚×0.995=102.5千枚							
	目標達成のための手段									
	上半期の実績		実績使用量 (削減分ではありません)						54.5	千枚
	今年度の実績		令和	5	年度比	-5.8	%削減	実績使用量 (削減分ではありません)	109.0	千枚
	達成状況の評価		達成状況の評価		B			目標に対する達成状況 94 %		
廃棄物の減量・リサイクル	率先実行計画の目標		可燃ごみの排出量を令和12年度までに平成22年度(基準年度)比20%以上削減する。							
	今年度の目標		令和	5	年度比	1	%削減	削減後の排出量 (削減分ではありません)	2,566	kg
	目標の設定理由 (目標設定ができない理由)		・前述同様、H24に県直営化となり対象職員数が異なるため、H24を比較対象年度とした。 ・率先実行計画の目標「H24(7,410kg)比20%削減(5,928kg)」は達成済み。 更なる削減のため、前年度比1%の削減を目標とする。 ・算定式: R5実績×0.99=2,592kg×0.99=2,566kg							
	目標達成のための手段		可燃ゴミからのリサイクル可能な資源ゴミの分別徹底 等							
	上半期の実績		実績排出量 (削減分ではありません)						756	kg
	今年度の実績		令和	5	年度比	34.4	%削減	実績排出量 (削減分ではありません)	1,701	kg
	達成状況の評価		達成状況の評価		A			目標に対する達成状況 151 %		